

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎作業学演習		必修	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
榎田 哲弥 他	C308	t.enokida	金曜日 14:40~17:00		
授業の目的・概要	本科目は1年次の「基礎作業学」を礎として、具体的な諸活動が臨床でどのように用いられ、またどのように用いれば有効なのかについて理解することを目的とする。作業療法で用いられる諸活動を実際に体験するなかで、身体的側面のみならず、精神心理的側面や環境・個人因子の側面からも、対象者によって異なる、各活動の治療的な意味を検討していく。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。疑問や不明な点は早期に解決し、授業の進行に合わせて理解を深めてほしい。 また、本科目では、基礎医学、運動学、基礎作業学、領域ごとの作業療法評価・治療の基礎的知識も必要となるため、適宜それらの知識を用いる準備ができていくことが望まれる。				
教科書	標準作業療法学 基礎作業学第3版/編:濱口豊太/出版社:医学書院/2017年				
参考書	ひとと作業・作業活動 新版/著:山根寛/三輪書店/2017年 レクリエーション 第3版 活動と参加を促すレクリエーション/監:寺山久美子 他/三輪書店/2021年				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業が人や環境にどのような影響を与え得るのか、作業の種目別に説明することができる。			OT (1)、(2)	
②	諸活動に必要な道具・材料を挙げ、その使用法を説明できる。			OT (2)	
③	責任をもち円滑に活動の準備・片付けを行い、作品を大事に扱うことができる。			OT (2)	
④	対象者に応じたそれぞれの活動の治療的意味について説明できる。			OT (1)、(2)、(3)	
⑤	対象者の疾患、症状・障害、背景等に応じた作業活動を提案することができる。			OT (2)、(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション。包括的作業分析	[担当] 榎田、渡辺、向山 講義、演習	事後：資料・教科書の復習	1	
2	作業分析。(作業)活動の特徴について学ぶ。	[担当] 榎田、渡辺、向山 講義、演習、GW	事前：教科書 p188~194 事後：資料・教科書の復習	1	
3	集団を活動に用いる。レクリエーションの計画・準備	[担当] 榎田、渡辺、向山 講義、演習、GW	事前：集団・レクの文献概覧 事後：レク概要をまとめる	1	
4	レクリエーションの計画・準備	[担当] 榎田、渡辺、向山 講義、演習、GW	事前：レクのポイントを検討 事後：レク内容・実施の検討	1	
5	レクリエーションの計画・準備	[担当] 榎田、渡辺、向山 講義、演習、GW	事前：レクのポイントを絞る 事後：レク内容・実施の検討	1	
6	レクリエーション実施①	[担当] 榎田、渡辺、向山 発表、討論	事前：実施やレク評価の準備 事後：レクの振り返り・考察	1	
7	レクリエーション実施②	[担当] 榎田、渡辺、向山 発表、討論	事前：実施やレク評価の準備 事後：レクの振り返り・考察	1	
8	革細工① 革細工作製の流れ、使用する道具・材料について学習する。革のカット、図案写しなどを行う。	[担当] 榎田、渡辺、向山 講義、演習	事前：資料/動画等で予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
9	革細工② カービング、スタンピング、モデリングを行う。	[担当] 榎田、渡辺、向山 演習	事前：資料/動画等で予習する 事後：資料を中心に復習する	1	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース】

10	革細工③ カービング、スタンピング、モデリング、彩色を行う。	[担当] 榎田、渡辺、向山	演習	事前：資料/動画等で予習する 事後：発表の準備をする	1
11	革細工④ 彩色、穴開け、レーシングを行う。	[担当] 榎田、渡辺、向山	演習	事前：資料/動画等で予習する 事後：資料を中心に復習する	1
12	自由課題①(対象者のさまざまな側面に適ったアクティビティ)	[担当] 榎田、渡辺、向山	講義、演習、GW	事前：必要な資料を揃える 事後：資料を中心に復習する	1
13	自由課題②	[担当] 榎田、渡辺、向山	演習、GW	事前：計画を調整する 事後：実施の振り返り・考察	1
14	自由課題③	[担当] 榎田、渡辺、向山	演習、GW	事前：実施の準備・調整 事後：実施の振り返り・考察	1
15	自由課題④	[担当] 榎田、渡辺、向山	発表、討論	事前：実施の準備・調整 事後：実施 振り返り・考察	1
試	定期試験 達成評価・評価のポイント参照				

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		55	25	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	30	5	5	0	0	40
	思考・推論・創造する力	15	15	5	0	0	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	5	5	0	0	20

評価のポイント			フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点		
試験	①	✓	学期末に定期試験（筆記試験）を実施する。授業で学んだことや取り組んだ課題などから出題し、知識とその理解度や、考えられることを問う。	全体に向けた講評のほか、個別の振り返りを必要に応じて対面または Teams で行う。
	②	✓		
	③			
	④	✓		
	⑤	✓		
レポート	①	✓	レクリエーション、革細工、自由課題の3つに関してレポートを課す。特に考察を重視する。指定された様式を用い、Teams 課題機能で提出してもらう。	全体に向けた講評のほか、個別の振り返りを必要に応じて対面または Teams で行う。
	②	✓		
	③			
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥	✓		
成果発表	①	✓	レクリエーションの実施（計画書も含む）と、作品（革細工、自由課題の2つ）について評価する。レクリエーションでは、計画・準備、集団・場の動かし方、作業療法としての適切性などを重視する。作品では、出来栄よりも、授業で扱われた道具・技法等が用いられ、作業療法として行うには適切であり、楽しむこともでき、最後は丁寧に仕上げられ、完成品を何かに活かせること（飾る、プレゼントする、普段使う）などを重視する。	授業時間内に実施する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	渡辺 俊太郎、向山 秀
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として10年以上の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	配布資料の内容と併せて、臨床を通して得た知見に基づき作業療法に必要な基本的な知識や考え方を教授する。
そ の 他	授業回によっては物品の用意や環境調整等の事前準備が必要な場合があるため、授業内または Teams の連絡には十分注意してください。